



ポスト・コロナの学校教育（4）

ICTを活用したポスト・コロナの 授業づくりを考える

ポスト・コロナ時代における学校教育の新たな日常とそこに埋め込まれた課題を、毎回テーマを設けて議論します。今回は新シリーズの第4回で、ポスト・コロナの学校教育のあり方を見通しながら、ICTを利活用した授業づくりについて理論と実践をもとに考えを深めます。

■ 日時

2020. 10.24（土）
14:00-15:30

オンライン会議
Zoomを使用

■ スケジュール

司会 広島大学 木下 博義

1. 講演 「SAMRモデルとICT利活用教育」
広島大学附属福山中・高等学校 平田 篤史
 2. 実践報告1 「中・高等学校におけるICTを用いた授業実践
ー学習スタイルの多様性に着目してー」
関西学院千里国際中等部・高等部 岡本 竜平
 3. 実践報告2 「大学でのオンライン授業で見えてきたこと
ー理科(化学)の講義・実験・演習での実践を通してー」
広島大学 網本 貴一
 4. 質疑応答・意見交流
- コメンテーター：広島大学 渡辺 健次

■ 主催/共催

主催 令和2年度広島大学教育学部共同研究プロジェクト

「「ポストコロナの学校教育」の提起する学術知競争の可能性と課題」、
広島大学教育ヴィジョン研究センター（EVRI）

共催 科研_基盤研究(A)「IBの理念を踏まえたカリキュラム・授業・評価の開発的研究」
(研究代表者：棚橋健治)

後援 自然システム教育学講座、技術・情報教育学講座、教職開発専攻（教職大学院）、
次世代科学教育プロジェクト研究センター

■ お問い合わせ先

教育ヴィジョン研究センター（EVRI）

Tel & Fax：082-424-5265

Email：evri-info@hiroshima-u.ac.jp

QRコード等からお申し込みいただけます

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします

